

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月26日

事業所名 キッズMOMO

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動に応じて部屋を分け、パーテーションで区切る等工夫しています	
	2 職員の配置数は適切である	○			配置基準に合わせて出務を組んでいます	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			館内には車いすでも対応できるスロープやエレベーターが設置されています	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			活動にはねらいを持ち、実施にあたって打ち合わせをし取り組んでいます。また振り返りをし次に活かしています	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			毎年アンケートを行い、業務改善につなげています	アンケートには活発な意見を出していただけるよう工夫をしていきたいと思ひます
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			書面にて配付しています 事業所玄関にも掲示し、いつでも閲覧できるようにしています	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			第三者委員とのつながりはできています	
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			毎月研修をしています。個人の研修と事業所内で医師や臨床心理師との勉強会を定期的におこなっています	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			半年に一回面談を行っています。毎日の個人記録をもとに支援会議を開き、分析に努めています	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			事業所で行えず、医療機関や学校等で行った場合に限られるため、すべてに当てはまらないが状況把握するためのツールとして使用しています	標準化されたアセスメントツールは積極的に使用していきたいと思ひます
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			毎回職員間で話し合いをしています	日、週ごとにねらいや目標をたて取り組んでいます
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			月、週、日ごとにねらいを定め、活動内容について話し合いをしています	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○				長期休みに買い物活動や地域交流を行っています
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			毎日、個別活動と集団活動を取り入れています	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			流れや役割、予想される行動を毎日確認し合っています	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			情報を共有し支援につなげています	
関係機関 や保護者 との連携	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			コドモン(学校アプリ)を利用し予定や連絡を把握しています お迎え時にその日の出来事を伝えてもらえることもあります	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			該当なし		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			○	必要に応じて情報共有していきたいと思います	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○	必要であれば提供したいと思っているが、これまでに依頼されたことはありません	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			○	ケース検討など積極的に関わってきたいと思っています	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			長期休みを利用し交流の機会をつくっています	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		保護者の話を聞き情報を共有し一緒に考えたり関わり方を提案することに努めています	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			相談があった時は個々に対応しています。保護者の話を聞き情報を共有し一緒に考えたり関わり方を提案することに努めています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			保護者が主体となって開催している会に周知協力しています	四年ぶりに開催することができました。今後は時期や内容について検討していきたいと思います
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				苦情があれば真摯に向き合い対応していきたいと思っています
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				事業所内の会報については定期的に発行できず、今後できるだけ多くの情報を発信できるよう努力していきたいと思っています
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			連絡ノートや口頭、電話など相手に合わせた配慮をさせていただいています	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	能美市主催の街フェスで事業所を紹介しています	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				職員は周知、実施はしていますが保護者にまで周知していないのではないかと思います。周知までの工夫をしていきたいと思っています
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			事業所では毎月実施しています。その他、館内全職員で年二回行っています	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			毎年、研修会に参加しています	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				虐待防止委員会が設置されています。十分説明していますが計画へ記載まで至っていません
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			指示書に基づいて対応しています	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットがあった時は職員で情報共有し話し合いをしています。また記録も残しています	